

平成24年度生活環境部観光商工課執行目標設定表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	目標を進行させる計画 (スケジュール)	総合計画（基本計画）、施政方針や行革行動計画の位置づけ
1	<p><b>観光協会の自立に向けた方策の検討</b></p> <p>資金面からの自立を目指すための方策を検討する。</p>	<p>観光協会が、市が策定を計画している観光振興計画等の推進に向けた中核組織として、自主事業及び関連観光産業との協調等によって自主財源を確保できる体制を構築する。</p>	<p>平成24年末</p> <p>複数年次にわたる観光基本計画（案）の策定に向けた基本構想を検討する。</p> <p>特に自主財源の確保に向けては、ふるさと納税制度の活用や収益性を見込むことができる事業の実施について、観光協会と協働して検討する。</p>	<p>○総合計画（基本計画）</p> <p>2(2)観光・交流産業の振興</p> <p>○行革行動計画</p> <p>(3)9①第3セクターの見直し</p>
2	<p><b>市と観光協会との役割分担の明確化、目標の共有化</b></p> <p>市との役割分担の明確化、目標の共有化を図る。</p>	<p>市が進める観光振興施策を実現するため、市と観光協会が互いの特長を最大限に発揮できるような相互連携関係を構築する。</p>	<p>同上</p>	<p>○総合計画（基本計画）</p> <p>2(2)観光・交流産業の振興</p> <p>○行革行動計画</p> <p>(3)9①第3セクターの見直し</p>

3	<p><b>木津川アートの方向性の確立</b></p> <p>持続可能な開催に向けた方策を確立する。</p>	<p>木津川アートが継続実施できる運営組織の確立、手法を検討する。</p>	<p>平成 24 年度末</p> <p>木津川アートを市の中核事業と位置づけ、木津川アート 2013 実施に向けた検討に合わせ、持続可能な体制づくりを始めとする方策を確立する。</p>	<p>○総合計画（基本計画）</p> <p>2(2)観光・交流産業の振興</p> <p>7(2)②市民と行政との協働体制の確立</p>
4	<p><b>3 町商工会の統合</b></p> <p>3 町商工会の統合に向け、京都府商工会連合会に働きかけ、京都府の協力を得ながら、3 町商工会の早期統合をめざす。</p>	<p>3 町商工会の統合スケジュールを確定し、早期統合をめざす。</p>	<p>平成 25 年度当初</p> <p>平成 24 年 6 月を目途に 3 商工会の合併協議会を設立し、平成 25 年 4 月の発足に向け協議、検討を実施。</p>	<p>○総合計画（基本計画）</p> <p>2(2)商業・中小企業の活性化</p>
5	<p><b>住宅改修助成制度の創設</b></p> <p>緊急経済対策の一環として、住宅改修助成制度の制定を目指す。</p>	<p>平成 2 5 年度からの制度実施に向け、制度設計を実施する。</p>	<p>平成 24 年度末</p> <p>平成 24 年度 12 月議会に向け実施要綱整備など制度設計を実施。</p> <p>施工業者には瑕疵担保保険料の補助、施工主には改修資金を補助することで、経済対策と併せて市民と市内リフォーム業者との末永い信頼関係を構築し、制度終了後においても市内リフォーム業者が継続して市内で工事を受注できることを目指す。</p>	<p>○総合計画（基本計画）</p> <p>2(3)雇用の創出</p>